学校番号	T0104

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	『最新高等保健体育』改訂版　（大修館書店）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康や安全について理解する。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

２　学習の到達目標

・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようになる。
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
・健康や安全に対する社会的な取り組みを知り、個人的な対応と関連付けて実践できるようになる。
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	現代社会と健康について感心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康について、課題解決を目指して総合的に考え、それらを表している。	現代社会と健康について、課題解決に役立つ基礎的な事項を理解している。 応急手当、心肺蘇生についての知識を身につける。
評価方法	プリント 実習 グループワーク 等	定期考査 プリント グループワーク 等	定期考査 プリント 実習 グループワーク 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	現代社会と健康	オリエンテーション。 ※活動目標・年間計画と授業の進め方を説明する。				a:各内容において、意見交換や自身の考えを発表するなど自主的に取り組もうとしている。 b:各内容において、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 c:各内容において、自身の考えを発言したり文章で表現したりできる。 c:応急手当や心肺蘇生法の正しい方法について、クラスメイトと協力し、実践できる知識を身につける。（応急手当の意義とその基本、心配蘇生法の原理と実践）	授業の取り組む姿勢 ノート提出 定期考査
		健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 意志決定・行動選択	○		○		
		生活習慣病とその予防 食事と健康 運動・休養と健康	○		○		
		喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	○	○	○		
		現代の感染症とその予防 感染症・性感染症・エイズ	○	○	○		
後期		欲求と適応機制	○		○		
		心身相関とストレス 心の健康のために	○		○		
		交通事故の現状と要因・予防	○		○		
		応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法の原理と実践	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断　　c:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。